

キリンチャレンジカップ2022 やまもも保育所 秋の大運動会！

やまもも保育所 芳我 岳陽

10月31日(月)、正気フィールドで運動会を行いました。総勢14組の親子が、元気に運動遊びを楽しみました。

時は遡ること10月初旬。子ども達は動物園に遠足へ出かけたこともあり、工作で動物を作る遊びに夢中になっていました。始めは個人で作っていましたが、やがて「みんなで大きい動物を作りたい！」という話になり、子ども達と相談した結果、大きなキリン作りがスタートしました。



さて、半月以上かけて見事に完成したキリン。これをどうするか。子ども達は「運動会で飾ったらいいんじゃない？」とのこと。「うん、いいね！」ということで、高さ1m70cm、全長1m60cmの巨大キリンが見守る運動会、題して【キリンチャレンジカップ2022 やまもも保育所 秋の大運動会】！始まり始まり！

当日は爽やかな秋晴れ。少し汗ばむくらいの陽気になりました。フィールドの準備を済ませ待っていると、親子で嬉しそうにこちらに向かってくる姿が。出席者がそろったところで、いよいよ運動会の開幕！



最初は、準備体操を兼ねて簡単な鬼ごっこから。【ねことネズミ】と呼ばれるこの遊びは、指示役の大人が「ネズミ」といったらネズミの絵が描かれた陣地へ、「ネコ」といったらネコの陣地へ移動するだけの単純なルールです。しかし、ネズミかネコかを言う前に、「ねーねーねーねー…」と、どちらを言うかわからない前置きを入れます。「ネズミ！」と言われたら即座に逃げないと鬼に捕まってしまいます。ですから、子どもはよく聞くこと、そして瞬時の判断、とっさに逃げる為の瞬発力の3つが要求されます。スリル満点、しかも楽しんで瞬発力が鍛えられるおススメの遊びです！（でも準備体操なのでユルユルに追いかけてましたよ）

お次は【ボールはさみリレー】。親子でボールを挟んで運びます。挟む場所はどこでもOK。身長差がありますからね。子どもが前、大人が後ろになり、両手をつないで馬車のような態勢で背中にボールを置いて運んだり、子どもの顔と大人のお腹だったり、多種多様なところで挟み合っていましたよ。子どもとボールを担いで走るお父さんもいらっしゃいました。





競技も順調に進み、休憩時間。子ども達は休むことなく元気に走り回っていました。それならと大縄をだすと、大縄跳び大会が始まりました。自分達が跳べるようになったところを見てもらいたい子ども達は大張りきり。挑戦した子は得意げに何度も何度も跳んでいました。

最後は【ダンボール積み競争】。中央に置かれたダンボールを組み立てて、配送所に運びます。10個先に積めた方が勝ち！崩れたら直さなければいけませんので、積んでいく箱の大きさなども考えなければいけません。

これはどちらもいい勝負。僅差で白か？と思われたその瞬間、無情にも音を立てて崩れていくダンボール…。ああ、これは何か気まずい…(主催者側の心の声)。しかし！自軍のピンチに走り出す子ども達。みんなで協力し合い、再びダンボールを積んでいく姿がありました。

冒頭の巨大キリンもそうですが、年長児中心に、一つの目標に向かって協力し合う姿が見られるようになってきました。こういうのを見ると、「ああ、小学生の足音が聞こえてきた」と思うのです。

徐々に一つにまとまってきた子ども達。これからどんな成長を見せてくれるのでしょうか。楽しみです。

